

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

4-IV-2

4-IV-2

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	県民向け講座の開催
節	IV.ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	2 新潟県佐渡金銀山出前講座	事業主体	県文化行政課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡を世界遺産にする新潟の会
事業概要	【事業目的】 ○ 佐渡金銀山の価値を本土側の県民に周知することにより、県民の知識向上と郷土愛の醸成を図る。 【事業内容】 ○ 島外各種団体を対象に、佐渡金銀山に関する講座を県内各地で継続的に開催する。		
	【R2年度計画】 ● 県文化行政課職員及び「佐渡を世界遺産にする新潟の会」が講師となって、県内企業・団体の会議等で佐渡金銀山の講座を開催する。 令和2年度目標：10回(令和元年度実績：8回) 【R2年度実績】 ● コロナ禍の下、4件のみの実施にとどまった。		
課題・今後の取組	【課題】 ■ 対面を控える傾向がまだまだ続くが、機会を捉え随時周知を図ることにより、活用を促す必要がある。 【今後の取組】 ■ 来年度の国内推薦により、メディアへの露出が増え、県民・団体の関心が高まることから、随時、出前講座の活用を促す。		
事業評価	【事業の達成度】 [a・b・c] 【事業実施の効果】 [a・b・c] 【総合評価】 [A・B・C]		

当初目標(10件)を大きく下回ったことから、達成度、効果をcとした。また、登録時の姿を定めていなかったが、登録前後に、年間10件の実施に向け、R2は4件であることから、総合評価をCとした。

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。